

堀口さやか先生プロフィール

堀口さやか先生は平成 16 年(2004 年)に女子栄養大学で学位を取得され、その後平成 24 年(2012 年)に女子栄養大学大学院栄養学研究科栄養学専攻で修士課程を修了されました。これまで主に血液中脂肪酸と食事の関連について研究をされており、論文を発表されていません(2021 年 4 月現在)。

- 1) 堀口さやか、川端輝江、長谷川恭子他. 食事中 n-6 系/n-3 系多価不飽和脂肪酸比率の検討. 脂質栄養学 15(1):93-106、2006
- 2) Sayaka Horiguchi, Kazuhiro Nakayama, Sadahiko Iwamoto, et al : Associations between a fatty acid desaturase gene polymorphism and blood arachidonic acid compositions in Japanese elderly, Prostaglandins, Leukotrienes and Essential Fatty Acids, 105, 9-14 (2016)

近年の研究テーマ

「血液中脂肪酸と食事の関連」

脂質は私たちにとって大切な栄養素のひとつです。二重結合を2つ以上もつ多価不飽和脂肪酸(PUFA)はその位置の違いから n-6 系 PUFA のリノール酸やアラキドン酸、n-3 系 PUFA の EPA や DHA に分けられます。その n-6 系及び n-3 系 PUFA は、いずれも体内では同じ不飽和化酵素により代謝・変換されます。この不飽和化酵素活性に関わる遺伝子には多型が存在することが報告されています。

本研究では遺伝子多型が血液中 PUFA に与える影響、そして遺伝子多型の影響に対して食事要因による血液中 PUFA の変化や違いを検討することを目的としています。食事要因は脂肪酸だけではなく他の栄養素との関連もみることで、個人の体質を考慮したより良い脂質摂取に役立つものと期待されています。

受賞歴

なし。